

6/3 (土)
から開講

令和5年度 熊本学園大学 春期公開講座
「 肥薩線の復旧とこれからの観光 」
人吉市復興応援事業としてライブ配信を実施

熊本学園大学は、地域に根ざした大学として知的財産を社会に還元することを目的に、平成3年度より地域の皆さまや学生を対象とした公開講座を開講しています。春期と秋期の年2回実施しており、毎回、政治・経済から文化、芸術、教育まで社会的に関心の高いタイムリーなテーマを設定し、本学教員が中心となって講師を担当します。

今回の春期公開講座は、「肥薩線の復旧とこれからの観光 ～熊本から広がる南九州の魅力～」と題し、2020年7月に発生した熊本豪雨からの復旧とこれからの南九州における観光産業の展望について、全4回の講演を行います。

また、今回の春期公開講座では、2011年に人吉市と本学が締結した包括的連携協定に基づき、人吉市の発展と熊本豪雨からの復興を後押しすることを目的に、広く人吉市民に公開する機会としてライブ配信を予定しています。本学と人吉市をインターネットで結んだ配信会場を、人吉市役所内に設置します。

6月24日(土)の最終講では、肥薩線を活用した人吉の地域活性化を考えるワークショップを予定しており、閉講式には人吉会場からのオンラインで迫田浩二人吉市副市長にもご挨拶いただきます。

よろしければ取材いただきますよう、お願い申し上げます。

【令和5年度 熊本学園大学 春期公開講座】

全体テーマ：肥薩線の復旧とこれからの観光 ～熊本から広がる南九州の魅力～

趣 旨：2020年7月に発生した熊本豪雨によって、熊本・宮崎・鹿児島を貫く観光路線として親しまれていた肥薩線は甚大な被害を受けました。2022年にJR肥薩線検討会議、JR肥薩線再生協議会がそれぞれ立ち上がり、復旧に向けた検討が重ねられています。

そこで、本講座では、肥薩線によって結ばれた南九州の魅力と資源、そしてこれからの地域について、熊本産業遺産研究会『肥薩線の近代化遺産』（弦書房、2009年刊）をベースに各識者による講演を行います。

会 場：新1号館 みらい 121 教室（ライブ配信は、人吉市役所2階201会議室 ※人吉市民のみ対象）

対 象：一般の方、学生（高校生以上）

受講者数：73名

各回 10:00～12:00 (6/24のみ 10:30～12:30)

日程	講義テーマ	講師
6月3日(土)	肥薩線と熊本、災害からの復旧	幸田 亮一 (商学部教授)
6月10日(土)	県南人吉の魅力づくりと肥薩線	松本 晋一 (熊本産業遺産研究会元会長)
6月17日(土)	鹿児島から見た肥薩線	東川 隆太郎 (NPO法人かごしま探検の会代表理事)
6月24日(土)	これからの南九州・観光・物流・まちおこし	伊津野 範博 (商学部教授)

※ 初回(6月3日)は、9:50より開講式とオリエンテーションを行います。

※ 最終日(6月24日)は、12:30より閉講式を行います。

取材ご希望の方はご一報いただきますようお願いいたします

～・本リリースについてのお問合せ～



熊本学園大学 広報室 TEL: 096-364-8722 (直通)

メール: koho-kgu@kumagaku.ac.jp



2022年
熊本学園創立80周年

熊本学園大学 プレスリリース等メディア情報一覧

<https://www.kumagaku.ac.jp/news/archives/category/media>